

(別紙5)

整理番号 2020P-103  
補助事業名 2020年度 学術・文化の振興のための活動 補助事業  
補助事業者名 特定非営利活動法人 さいたま映像ボランティアの会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2020を開催。コロナウィルスの影響により、映画を会場で上映するのではなく、インターネットで配信する形での開催となった。

映像制作における新たな才能を発掘・育成し、映画業界の発展に寄与するとともに、多様な文化に基づいた作品の鑑賞機会を広く全国の観客に提供し、作品を楽しんで頂くとともに異文化への理解も促す。

### (2) 実施内容

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2020の開催

会期：2020年9月26日（土）～10月4日（日）

1月23日から3月31日まで作品の公募を行い、106の国と地域からの1169本（国際コンペティション：805本、国内コンペティション：長編78本、短編286本）の作品が集まった。その中から、11名の一次審査員と事務局作品部スタッフ3名により、国際部門10本、国内長編5本、国内短編9本を選出。開催期間中にインターネットで配信し、観客賞を投票で決定するとともに、3名の国際部門審査員と、3名の国内部門審査員による最終審査を実施し、下記の通り作品を選出。授賞式には参加可能な受賞者を招待して表彰した。

#### 【国際コンペティション】

最優秀作品賞：『願い』（ノルウェー、スウェーデン）

監督賞：『ザ・ペンシル』（ロシア）

審査員特別賞：『ザ・ペンシル』（ロシア）

観客賞：『南スーダンの闇と光』（オーストラリア）

#### 【国内コンペティション】

SKIPシティアワード：『写真の女』

優秀作品賞：『コントラ』（長編部門）

『stay』（短編部門）

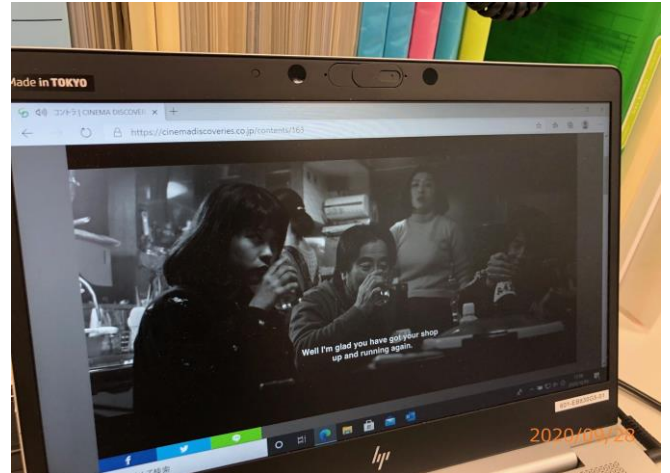
観客賞：『コーンフレーク』（長編部門）

『ムイト・プラゼール』（短編部門）

(別紙5)



オンライン記者会見



配信画面



配信画面



受賞式

## 2 予想される事業実施効果

### ① 若手映画監督の発掘と育成

映画祭を中止することなく、インターネット配信という形であっても開催し、審査と表彰を行えたことで、当映画祭が継続して実績を重ねてきた若手映画監督の発掘と育成の灯を途絶えさせることなく継続出来た。

### ② 映画ファンの裾野の拡大

映画は劇場で体感することによってそのスペクトルを最大限に感じることが出来るメディアであるが、インターネット配信を行うことで、遠方の映画ファンにも鑑賞機会を提供出来、映画ファンの裾野を拡大させることにつながった。またこれまでよりも若年層の観客への訴求にもつながった。

より多くの観客に、多様な文化に基づいた映画を觀賞してもらうことで異文化への理解のきっかけとなり、直接の交流にもつながることを期待したい。

(別紙5)

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

■公式プログラム



4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 特定非営利活動法人 さいたま映像ボランティアの会  
(トクテイヒエイリカツドウハウジン  
サイタマエイゾウボランティアノカイ)

住 所： 〒333-0845  
埼玉県川口市上青木西2-11-8  
中銀新青木公園マンション8号棟1F110号

代 表 者： 理事長 田中一成 (リジチョウ タナカカズナリ)

担 当 部 署： 本部 (ホンブ)

担 当 者 名： 富永威允 (トミナガタケヨシ)

電 話 番 号： 048-259-3421

F A X： 048-253-1305

E - m a i l： eizov@bf7.so-net.ne.jp

U R L： <http://www.eizov.com/>